



株主の皆様へ

第88期 中間事業報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第88期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

01 事業の概況について

当中間連結会計期間におけるわが国経済の景気は、踊り場を抜けて持ち直しの動きが見られ、内需主導で緩やかに回復しています。しかしながら、地政学的リスクの高まりによる燃料価格や原材料価格の上昇、それを受けての物価の上昇や名目賃金の上昇も今後も継続すると予想されます。

このような経済状況のもとで、当社グループは、コンシューマー事業におきましては、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」を主軸とし、国内販売が堅調に推移しております。2024年8月には、「JAPANドラッグストアショー」に出展し、次世代のスーパー物質として期待される「タンサ脂肪酸」をはじめとする新ブランドの商品ラインナップと、当社で培ってきた技術“届ける球体”腸テクノロジーの秘密について紹介いたしました。また、出展社の中から企画やデザインに優れたブースとして、当社のブースは実行委員長特別賞を受賞しました。今後も“届ける球体”技術を活用した腸テクノロジーによって、皆様の健康課題の解決を目指して製品及びサービス開発を進めてまいります。

2024年2月より「仁丹」のリブランディングに取り組んでおります。当社の技術力や品質、真心や熱意、挑戦心が詰まった“モノづくりの魂の原点”であり、社名の一部でもある「仁丹」をより身近に感じていただくため、「巨大ガチャイベント」に続き、8月に開催された「酒祭2024」にてサンプリングを行いました。今後も、若者をはじめ多くの方々に認知いただくべく、ステークホルダーの皆様とのリレーションを高めてまいります。

ソリューション事業におきましては、可食分野のジェネリッ

ク医薬品及び機能性素材の販売と、非可食分野の化粧品用シームレスカプセルの販売が引き続き堅調に推移しております。2024年9月には、タイ・バンコクで開催されたアジア最大級の栄養補助食品イベント「Vitafoods Asia」に出展し、多くの治験と豊富な実績を持つ当社のシームレスカプセル技術について、その多様性と汎用性について幅広く情報発信しました。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

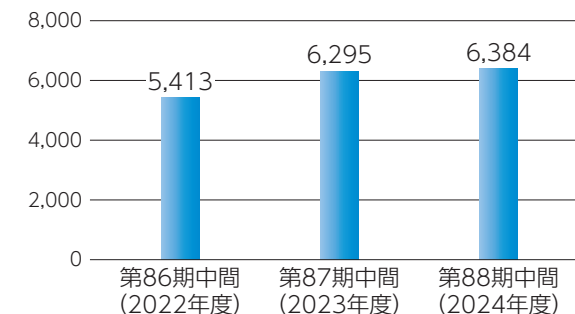
売上面では、ソリューション事業が増収したものの、コンシューマー事業が減収し、全体としては微増となりました。利益面では、当社で製造販売を行っている化粧品「販売名：仁丹バックシートH」の自主回収に伴う費用を計上したことにより、減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,384百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益244百万円（前年同期比60.6%減）、経常利益262百万円（前年同期比59.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益182百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

なお、2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、コンシューマー事業ではインバウンド需要への取り組み強化、ソリューション事業では機能性素材及びシームレスカプセルの受託量を増加させつつ、経費の見直しを実施することにより、2024年5月9日に公表いたしました予想に変更はございません。

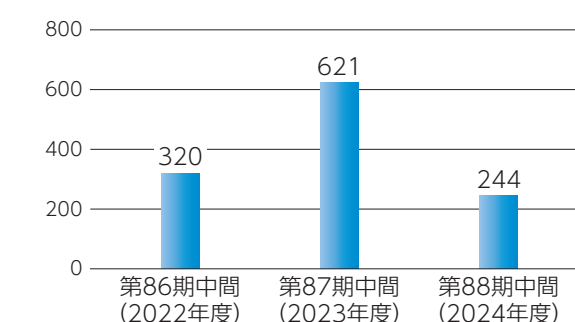
■売上高

（単位：百万円）



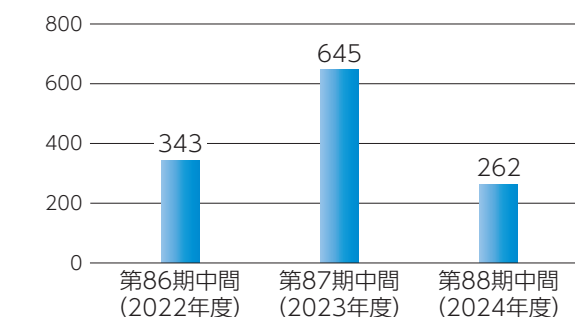
■営業利益

（単位：百万円）



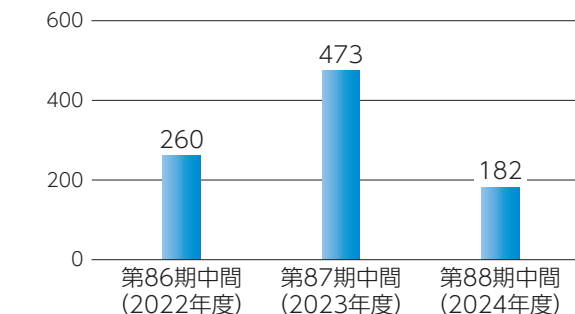
■経常利益

（単位：百万円）



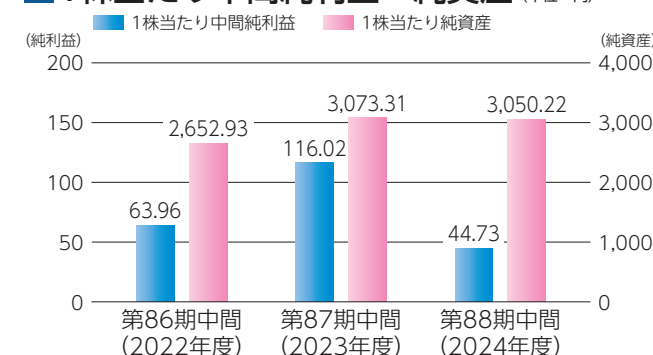
■親会社株主に帰属する中間純利益

（単位：百万円）



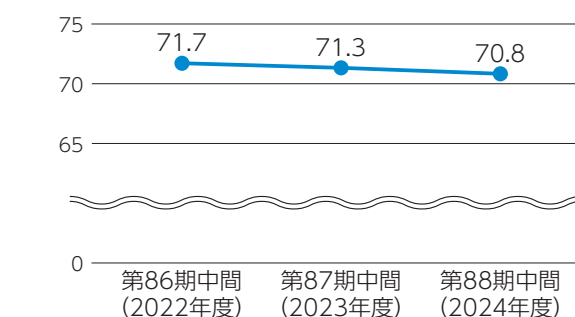
■1株当たり中間純利益・純資産

（単位：円）



■自己資本比率

（単位：%）

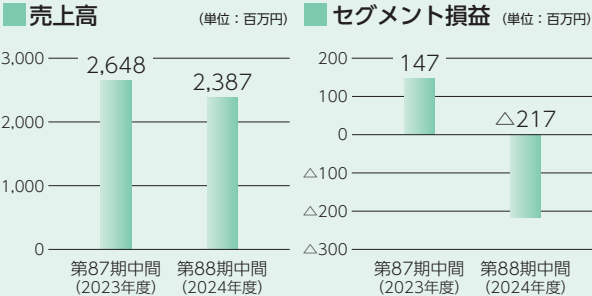


コンシューマー事業

自社製品・サービスを提供する

創業者 森下博は「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。仁丹で培われた素材研究と技術から発展させた機能性素材とシームレスカプセル技術を応用し、健康課題に合わせた様々な製品やサービスを提供。国内での通信販売、小売業者・卸売業者様への販売に加え、海外展開も積極的に行っています。

当セグメントにおきましては、「ビフィーナ®」を主軸とし、国内販売が堅調に推移しておりますが、一部のアジア地域では減収となりました。また、パックシートの自主回収に伴う費用を計上したことにより、利益面でも減益となりました。この結果、売上高は、2,387百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント損失は、217百万円(前年同期比は、セグメント利益147百万円)となりました。

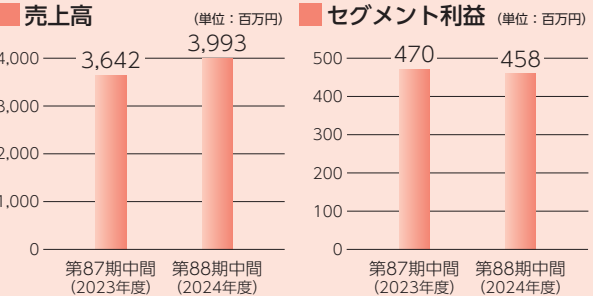


ソリューション事業

他社と協同しお客様の課題を解決する

製品・サービスの高付加価値化、差別化を一気通貫で支援。お客様の要望・課題に応えられるよう、当社が持つカプセル製剤技術・錠剤製剤技術・機能性素材と、他社の技術を組み合わせ、新しい価値を生み出しています。品質管理についても、医薬品または健康食品GMPを取得した工場で製造することで、国内外の企業様に安心と安全をお届けしています。

当セグメントにおきましては、機能性素材及びジェネリック医薬品の販売が前年同期と比べ増収となりました。この結果、売上高は、3,993百万円(前年同期比9.6%増)、セグメント利益は、458百万円(前年同期比2.6%減)となりました。



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 中 間 連 結 会 計 期 間 (2024年9月30日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (2024年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	7,046	7,053
固 定 資 産	10,578	10,130
有 形 固 定 資 産	5,346	5,394
無 形 固 定 資 産	260	278
投 資 そ の 他 の 資 産	4,970	4,456
資 産 合 計	17,624	17,183
負 債 の 部		
流 動 負 債	3,178	3,226
固 定 負 債	1,967	1,813
負 債 合 計	5,146	5,039
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	10,095	10,104
その他の包括利益累計額	2,383	2,039
純 資 産 合 計	12,478	12,144
負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,624	17,183

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2024年4月 1日から 2024年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2023年4月 1日から 2023年9月30日まで)
売 上 高	6,384	6,295
売 上 原 価	3,567	3,190
売 上 総 利 益	2,817	3,104
販売費及び一般管理費	2,572	2,482
営 業 利 益	244	621
営 業 外 収 益	22	25
営 業 外 費 用	4	1
経 常 利 益	262	645
税金等調整前中間純利益	262	645
法人税、住民税及び事業税	53	190
法 人 税 等 調 整 額	26	△ 18
中 間 純 利 益	182	473
親会社株主に帰属する中間純利益	182	473

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2024年4月 1日から 2024年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2023年4月 1日から 2023年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 117	△ 163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 294
財務活動によるキャッシュ・フロー	222	△ 288
現金及び現金同等物の増減額	△ 248	△ 746
現金及び現金同等物の期首残高	1,092	2,409
現金及び現金同等物の中間期末残高	843	1,662

TOPICS

1

スッキリ感とメントールによる鼻抜け感そのままにミルクのまろやかさで包み込む

「鼻・のど甜茶飴」シリーズから『スッキリまろやかタイプ』が新登場

当社は、長年培ってきた和漢植物の知見と当社独自のシームレスカプセル技術を活かした本格派のど飴「鼻・のど甜茶飴」から、『スッキリまろやかタイプ』を新たに追加し、2024年8月30日に発売開始いたしました。「鼻・のど甜茶飴」シリーズは、ユーカリ香料などを当社独自の直径1mmほどのシームレスカプセルに包んで飴に練り込んだ、革新的なのだんごです。新たに登場する『スッキリまろやかタイプ』は、鼻を通り抜ける心地よい爽快感はそのままに、のどを包み込む豊かな潤いとミルク風味によるまろやかな味わいを実現しました。

また、甜茶エキス、甘茶エキス、甘草エキス、生姜エキスに加え、桔梗(キキョウ)と甘草のブレンドエキスを配合し、和漢植物エキスがやさしくのどを包みます。

コクがありながらもスッキリとした美味しさは、これまで「鼻・のど甜茶飴」の刺激が苦手だった方々にも楽しんでいただける製品となっています。

まろやかでコクのあるミルク風味と、和漢植物エキスのハーモニーをお楽しみください。



TOPICS

2

株主優待制度の変更(拡充)

株主の皆様の日頃の温かいご支援への感謝の気持ちを込めるとともに、当社株式への投資の魅力をさらに高めていただくため、本年度より株主優待制度の内容を変更(拡充)いたしました。2024年9月30日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に、変更後の株主優待制度(中間優待)を実施いたします。

詳細は下表をご参照ください。

所有株式数	基準日	
	毎年3月31日現在	毎年9月30日現在
100株以上 保有の株主様	3,500円(税抜)相当の当社製品	ヘルスイド® ビフィナ®S (30日分)※
200株以上 保有の株主様	7,000円(税抜)相当の当社製品詰め合せまたは寄附のいずれか1つ	
400株以上 保有の株主様	7,000円(税抜)相当の当社製品詰め合せまたは寄附のいずれか1つ+3,000円(税抜)相当の当社製品	

※ 来年度以降、商品が変更になる場合があります。

TOPICS

3

統合報告書2024発行

当社は、2024年11月21日に「統合報告書2024」を発刊し、コーポレートサイトに公開いたしました。

株主の皆様、無事にお手元に届き、お読みいただけましたでしょうか。本誌では、社会課題解決に向けて進化するシームレスカプセルについて、技術面だけでなく品質や安全性に関しても取り上げるなど、財務・非財務それぞれの視点で総合的に説明させていただいております。

当社は、今後もコーポレートサイトや統合報告書などを通じた適切な情報開示に努めるとともに、株主の皆様はじめステークホルダーの皆様との対話を通じて企業価値向上に努めてまいります。



役 員

代表取締役社長	森 下 雄 司	取締役(社外取締役) (監査等委員)	石 原 真 弓
取締役	吉 田 秀 章		
取締役 (社外取締役)	末 川 久 幸	取締役(社外取締役) (監査等委員)	石 黒 訓
取締役 (社外取締役)	河 崎 保 徳	常務執行役員	石 田 英 嗣
取締役 (常勤監査等委員)	大 城 広 明	執行役員	地 主 紀 之
		執行役員	小 林 弘 明

ネットワーク

商 号	森下仁丹株式会社	MORISHITA JINTAN CO., LTD.
資 本 金	35億3,740万円	
事 業 の 内 容	医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、並びに食品などの製造及び販売	
事業所及び工場		
本 社	大阪府中央区玉造一丁目2番40号	電話 (06) 6761-1131 (代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話 (072) 800-1040
滋 賀 工 場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話 (0749) 48-7370
東 京 オ フ ィ ス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話 (03) 6206-8138

株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日
(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (https://www.jintan.co.jp/ir/)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

当社コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトで各種情報を公開しております。

是非一度ご覧ください。

<https://www.jintan.co.jp/>



▲ トップページ



▲ IR情報